

大会運営に関する連絡事項(競泳)

競技はすべて日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり、大会要項の通り行うが、参加者は次の点に注意すること。

- | | |
|--------------------|--|
| 1 選手招集 | 競技開始20分前に招集所にて点呼を受けること。なお、競技進行上、予定時刻よりも若干前後することもあるので十分に注意すること。
決勝の招集は、第1補欠も点呼を受けること。
※ 競技が20分以上繰り上がる場合には通告する。 |
| 2 棄権・訂正 | 選手の棄権やプログラムに印刷ミス等がある場合には、棄権・訂正用紙に記入し、受付に提出すること。
※ 選手マスターに記載されている選手の番号を必ず記入すること。 |
| 3 リレーオーダー | 競技開始1時間前までに、リレーオーダー用紙に記入し、受付に提出すること。
※ 選手マスターに記載されている選手の番号を必ず記入すること。 |
| 4 競技 | (1) 禁止事項について
① スタート前にスタート台側から着水(手で水をすくうことも含む)することは禁止する。
② 背泳ぎのスタート前の入水は、必ず足からの入水であること。それ以外の入水を禁止する。
③ プールサイドに出たの応援・コーチは、サイドコーチとして禁止する。
④ 競技時においてスパイラルテープ・テーピング等の使用を禁止する。

(2) 注意事項について
① 背泳ぎ以外のスタートは、審判長の笛による合図の後、必ず静止すること。動いた場合は、フォルススタートとして失格となる。
② 男子1500m自由形では、500mと1000mで折返し審判がコールを行う。また、1400m折返し時に合図(振鈴)を行う。
③ 女子800m自由形では、400mでコールを行う。700m折返し時に合図(振鈴)を行う。
④ 男子1500m自由形、女子800m自由形並びに400m個人メドレーにおいて、途中時間で参加標準記録を超過した選手には、退水指示をする。
⑤ 自動審判装置を使用するので、折返し及びゴールタッチは、タッチ板の有効面にしっかりと行うこと。また、リレー競技の場合、最終泳者以外は、15秒以内に退水すること。(誤作動防止のため)この際、必ず自分のコースから退水すること。 |
| 5 表彰 | 表彰は、その種目の決勝終了後に男女3位までの選手を表彰する。 |
| 6 ウォーミングアップ | (1) 禁止事項について
危険防止のため、パドル、フィンの使用を禁止する。

(2) ダッシュコース・公式スタート練習について
電光掲示板にて連絡する。 |
| 7 応援席 | 応援席は、譲り合って使用すること。シート・メガホン・シート等で占領している場合には、専門部にて撤去する。 |
| 8 その他 | 大会出場者(引率・監督・コーチ・選手)のアリーナ内での履き物は禁止とし、裸足とする。 |